

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
化学基礎	国際交流科	2	2	新版 化学基礎 新訂版(実教出版)	アケスノート化学基礎 改訂版(実教出版) 化学実験テキスト(富山県理化学会)

科目の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
---------	--

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	1章 物質の構成 1 物質の探究	<ul style="list-style-type: none"> 物質の種類と性質 物質と元素 物質の三態と熱運動 	<ul style="list-style-type: none"> 混合物と純物質の違い、分離精製法を知る。 元素の意味と純物質の成り立ちを知る。 粒子の熱運動と温度、物質の三態変化との関係を理解する。
	5	2 物質の構成粒子	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造 イオンの生成 周期表 	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造及び陽子・中性子・電子の性質を理解する。 元素の周期律及び電子配置の周期表との関係を理解する。
	6	2章 物質と化学結合	<ul style="list-style-type: none"> イオン結合 共有結合と分子間力 金属結合 化学結合と物質 	<ul style="list-style-type: none"> イオンの生成の仕組み、イオン結合からなるイオン結晶の性質を理解する。 共有結合と分子の性質を理解する。 金属結合からなる物質の性質を理解する。
	7	3章 物質の変化	<ul style="list-style-type: none"> 原子量 	<ul style="list-style-type: none"> 原子量の定義を理解する。
二	9	1 物質量と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 分子量・式量 物質量 溶液の濃度 化学反応式 	<ul style="list-style-type: none"> 分子量・式量の定義を理解する。 物質の量を表す単位としてmolを理解し、他の単位への変換の仕方を理解する。 質量パーセント濃度とモル濃度の表し方を理解する。 化学反応式・イオン反応式を利用して化学反応の量的関係の計算ができることを理解する。
	10	2 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和反応と塩 	<ul style="list-style-type: none"> 酸・塩基の定義を理解する。 水素イオン濃度とpHの関係、pHと水溶液の酸性度・塩基性度の関係を理解する。 中和反応の量的関係や塩の分類などを理解する。
	11			
	12			
三	1	3 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元 酸化剤と還元剤 酸化還元反応の起こりやすさ 身のまわりの酸化還元反応 	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元の定義を理解する。 酸化数を使って酸化還元反応を理解する。 イオン化傾向と反応性の関係を理解する。 電池や電気分解について理解する。
	2			
	3			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技術を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
◎評価の方法				
定期考査の成績、授業中のミニテストの成績、課題の提出状況、実験のレポートおよび授業態度を総合して評価する。				